

新川会通信

第40号

すまいる

発行
社会福祉法人新川会

〒930-0362
上市町稗田字七郎谷1-32
Tel(076)472-1118
Fax(076)472-5391
E-mail yotsubaen@niikawakai.jp
HP http://www.niikawakai.jp/

発行責任者 久保 進

新しくなった通りで
余暇活動。
笑顔があふれ、
皆さんニコニコです！



ついに完成、収納棟！



改修した棟は快適です♪



新ひかり通り！綺麗！

この改修の大きな目的は、着実に進んでいける利用者さんの高齢、加齢化による介護支援の充実と多様化している障害状況への対応を目指して整備されたものであります。特に、この年は施設や設備の老朽化が著しく、対応に追われることも少なくはありませんでした。また、利用者さんの平均年齢が四五歳でした。最高年齢は七五歳、七十歳以上の方は八名おられます。

この改修の予防、対策に重点を置き、居室の充実と多様化している障害状況への対応を目指して整備されたものであります。特に、この年は施設や設備の老朽化が著しく、対応に追われることも少なくはありませんでした。また、利用者さんの平均年齢が四五歳でした。最高年齢は七五歳、七十歳以上の方は八名おられます。

このたび、四ツ葉園の大規模改修（旧館）及び収納棟の建設が無事完了しました。昨年九月から始まつた大がかりな工事でしたが、関係各位におかれましては多くのご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。

四ツ葉園は、平成四年に開所し、今年で二六年目を迎えます。その年数を重ねた分、ここ近年は施設や設備の老朽化が著しく、対応に追われることも少なくはありませんでした。また、利用者さんの平均年齢が四五歳でした。最高年齢は七五歳、七十歳以上の方は八名おられます。

今後は、施設、設備の改修にとどまらず、より質の高いサービスを提供するためにも、職員は専門性を意識してスキルアップを図り、幅広く知識や技術を身に付けることが求められます。また、利用者さん一人ひとりに寄り添うには、高齢化、重度化が進む中、日々の変化に対応できる組織体制の強化にも取り組んで行かなければと考えています。

改築完成

四ツ葉園 施設長 高木 伸治

このたび、四ツ葉園の大規模改修（旧館）及び収納棟の建設が無事完了しました。昨年九月から始まつた大がかりな工事でしたが、関係各位におかれましては多くのご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。

四ツ葉園は、平成四年に開所し、今年で二六年目を迎えます。その年数を重ねた分、ここ近年は施設や設備の老朽化が著しく、対応に追われることも少なくはありませんでした。また、利用者さんの平均年齢が四五歳でした。最高年齢は七五歳、七十歳以上の方は八名おられます。

今後は、施設、設備の改修にとどまらず、より質の高いサービスを提供するためにも、職員は専門性を意識してスキルアップを図り、幅広く知識や技術を身に付けることが求められます。また、利用者さん一人ひとりに寄り添うには、高齢化、重度化が進む中、日々の変化に対応できる組織体制の強化にも取り組んで行かなければと考えています。



工房よつば

工房よつばは、開所して五年が経過しました。現在十二名の利用者さんが日々グループホームより通つておられます。今回は日頃の様子について紹介します。

主な仕事は委託のバリ取り作業です。多くの製品があり、大きさや重さ、形がそれぞれ異なります。折り方が難しい製品もありますが、身に付くまで職員が説明したり見守つたりしています。その他にも宿泊施設の入浴セット詰めやサービスエリアの花の植え替え等さまざまな委託作業を行っています。



野生型エノキタケ
並べて乾燥させます。



自主製品の中で一番力を入れているのが「贅沢なよもぎ風呂」で、採集したよもぎを一枚一枚丁寧に選別し、手洗い、乾燥まですべて手作業で行っています。厳選したよもぎで作った入浴剤は清々しい香りが楽しめると大人気で、毎年多くのご注文を頂きります。現在雑貨屋アミングや立山町のあるペん村等様々な方面に向けて販売を行っています。

さらに冬季の作業量を確保すべく、昨年度から野生型エノキタケの栽培にも取り組みます。



んでいます。野生型エノキタケは市販品より大ぶりで歯ごたえが良く、香りが強いことが特徴です。温度や湿度に注意し、施設内で場所を移しながら最適な生育環境を探っています。栽培したエノキは上市町にあるつるぎの味蔵にて、春の初めごろまで販売を行っています。



思いっきり体を
伸ばします！



また、試作品として梅干しを作ったり、畑で収穫した人参をスムージーやふりかけに変身させて利用者さんと一緒に試食したりしています。今後も畑で様々な食物を栽培していく予定なので、食品加工にも力を入れなければと思っています。

行事や外出等も定期的に行い、日頃の仕事の気分転換を図っています。また、昨年度からは月に一度、講師の先生をお招きし太極拳教室を開催しています。普段下を向いて作業するこの多い体をストレッチで伸ばします。太極拳の動きも皆さん少しづつ覚えておられます。

工房よつばでは利用者さんの個性を配慮し、作業内容や配置、手順を示しています。今後も利用者さんが工房よつばに通うことで、充実感や達成感を得ることが出来るよう、一人ひとりに合った作業内容の提供や環境づくりを行っていきたいと思います。



綺麗な景色に大満足!

四ツ葉園だより

昨年度一年間の作業や活動に取り組んできたことへの労いと英気を養い今後の励みとする為に活動班ごとに還元金外出へ行つてきました。

療育班は三つの班に分かれ、

それぞれ富山市科学博物館、四季防災館、ファーボーレへ行つてきました。環境班は富山県中央植物園、工芸班はアピタ富山東店、手芸班は魚津水族館に行きました。どの班も買い物やおいしい料理、綺麗な景色等を楽しみ、皆さん大満足の外出となりました。

還元金外出



アピタ富山東店で買い物♪



科学博物館は驚きがいっぱい!



環境班全員集合!

会員意気込み



自治会長 山越 圭二さん

「皆さんのために色々な仕事を一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。」

役員で今年度は皆さんの生活を快適に楽しむよう頑張ります！



自治会活動紹介

四月の定例会で自治会役員の任命式が行われました。前年度から引き続き役員になられた方や今回新しく役員になられた方もおられます。左の写真の十一名の役員で今年度は皆さんの生活を快適に楽しむよう頑張ります！

「副会長として定例会のプレゼント渡しや司会を頑張ります。」

自治副会長 村上 英明さん



自治副会長 柴田 智恵さん

贈呈品



庭の古くなつたウッドデッキの上に敷き、利用者の方が中庭で安全に過ごせるようになります。ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

「いっぱい活動してみんなに喜んでもらえるよう頑張ります。」



ダイヤテック

株式会社様から人工夫をいた

雷鳥苑だより



今年は風が強く吹いたため、花が散るのが早く、当日には、「桜は無理かなー」という声が聞かれました。が、公園へ向かってみると桜も最後の一咲をしてくれたようで、きれいな桜の下で写真を撮ることができました。

公園の遊具で遊び、保護者会で買つていただいたお菓子をみんなで食べました。

「来年の花見もたのしみだね」と皆さんとても満足といった様子でした。

四月九日・
十日、雷鳥苑花
見外出を今年も
行いました。



今年も畑作業がスタートしました。今年は農福連携事業を目指す第一歩として雷鳥苑の畑でラベンダー栽培を行います。ラベンダーの植え付けを新川会の施設と一緒に行いました。他の施設と合同で仕事をする経験が少ない雷鳥苑の皆さんには最初、緊張した面持ちでしたが、慣れてきたころから、畝の作り方を利用者さん同士で教え合うなど仲の良い様子も見られました。たくさんラベンダーが色づき素敵なお畑になるのが待ちどおしいですね。

花見外出

農福連携を目指して！

工房よつばだより

厳しかつた冬が
終わり、暖かな春
がやつて来まし
た。現在の工房よ

は、上市町

のふるさと納税の福
にも選ばれました。ぜ
用されてみてはいかが

に「贅沢なよもぎ風呂」という名前がぴったりです。この商品

贅沢なよもぎ風呂が 出来るまで



工場に選別します



手造りし乾燥させます



バックに詰めミーラーをかけます

いるよもぎ入浴雑貨は、名峰立山のふもとで自生しているよもぎを採集して、一枚一枚を丁寧に選別、手洗いし乾燥させたよもぎの葉をパック詰めしたものです。コンセプトは施設らしさからの脱却で、一般商品と並べても引けを取らない商品づくりを心掛けています。厳選したよもぎで作る入浴剤には、まさ

完成です☆
値段(450円)

動を続
いていき
いです





さつき苑だより

花見外出

四月九日、十日に生活班・就労班に分かれて、お花見外出に行つてきました。生活班は、宮野山運動公園へ行つてきました。天気が悪くドライブが中心となりましたが、久しぶりの外出でいつもと違った雰囲気の中、お花見弁当を食べて、利用者の皆さんはとても楽しそうに過ごしておられました。今年は桜の開花が早く花が散つているところも多い中、まだまだた

きました。天気が悪くドライブが中心となりましたが、久しぶりの外出でいつもと違った雰囲気の中、お花見弁当を食べて、利用者の皆さんはとても楽しそうに過ごしておられました。今年は桜の開花が早く花が散つているところも多い中、まだまだた

きました。天気が悪くドライブが中心となりましたが、久しぶりの外出でいつもと違った雰囲気の中、自分的好きなものを選んで食べれたことでお箸も進み、ついつい食べ過ぎてしましました。

桜の花は少なくなっていませんが、普段と違った体験ができ、とても思い出に残る花見外出となりました。

就労班は、すたみな太郎で昼食を食べ、その後水墨美術館へ行つてきました。昼食は、皆のリクエストで、すたみな太郎で焼き肉や、お寿司などのバーベキューを食べました。いつも一緒に仕事を頑張っているメンバーで楽しい雰囲気の中、自分の好きなものを選んで食べれたことでお箸も進み、ついつい食べ過ぎてしましました。

桜を見ることができ、春を堪能する機会となりました。

就労班は、すたみな太郎で昼食を食べ、その後水墨美術館へ行つてきました。昼食は、皆のリクエストで、すたみな太郎で焼き肉や、お寿司などのバーベキューを食べました。いつも一緒に仕事を頑張っているメンバーで楽しい雰囲気の中、自分の好きなものを選んで食べれたことでお箸も進み、ついつい食べ過ぎてしましました。

桜の花は少なくなっていますが、普段と違った体験ができ、とても思い出に残る花見外出となりました。

つつじ苑だより

今年度のつつじ苑

今年度つつじ苑ではスマートステップで農園芸に取り組んでいきます。今回はその三つを紹介します。

一つ目は、以前より黒田元施設長の畑をお借りしてジャガイモ・ミニトマト・サツマイモ作り等を行い、調理実習でおいしくいただいていましたが、今年度は大豆を植え、豆腐作りにも挑戦します。

二つ目は、花苗栽培です。第一弾でマリーゴールドと百日草の種まきをしました。ちなみにマリーゴールドの花言葉は「信頼」、百日草の花言葉は「絆」です。利用者から信頼される支援者に、また絆もますます深めていくという気持ちを込めて栽培しています。

三つ目は、ブルーベリーを栽培します。ご縁があつて滑川市二塚にある中庭のブルーベリー園へ定期的に遊びに行くことになりました。遊びに行きながら

栽培のノウハウを少しづつ学びたいと思っています。

試しにつつじ苑でもブルーベリーの苗植えをしました。三年後を見越して育てています。

皆さん、少しだけ期待して温かい目で今年度のつつじ苑を見守つてください。どうぞよろしくお願いします。

二つ目は、花苗栽培です。第一弾でマリーゴールドと百日草の種まきをしました。ちなみにマリーゴールドの花言葉は「信頼」、百日草の花言葉は「絆」です。利用者から信頼される支援者に、また絆もますます深めていくという気持ちを込めて栽培しています。

三つ目は、ブルーベリーを栽培します。ご縁があつて滑川市二塚にある中庭のブルーベリー園へ定期的に遊びに行くことになりました。遊びに行きながら



地域相談室だより

みなさんと共に

地域生活相談室

室長代理 藤木 和美

『明るい笑顔があふれるところ』
新川会の入り口が地域生活相談室
です。

はじめまして。藤木と申します。
この度、ご縁があり新川会地域生
活相談室に勤めさせていただくこ
とになりました。サービス利用の
入り口として、笑顔でご利用者さ
ん、ご家族の皆さんをお迎えして
いきたいと思っております。

『明るい笑顔があふれるところ』
新川会の入り口が地域生活相談室
です。

新川会の入り口が地域生活相談室
です。

はじめまして。藤木と申します。
この度、ご縁があり新川会地域生
活相談室に勤めさせていただくこ
とになりました。サービス利用の
入り口として、笑顔でご利用者さ
ん、ご家族の皆さんをお迎えして
いきたいと思っております。

なんらかの障害があると、障害
者、というひとづくりで見られて
しまいかがちですが、その場その場
で生活者としての顔があります。
例えば、お店に買い物に行けば「お
客さん」。選挙の時は「町民、市民」。
家では「お兄ちゃん」かもしれません。
事業所へ行けば「メンバ
さん」ですが、お互いの「ピアカ
ウンセラー」でもあります。そん
な生活者としての顔とスタイルを
きちんと守り支えていくことも相
談支援専門員の役目ではないかと
思っています。

地域環境が整うことで暮らしあ
いきいきと暮らせます。その行程
すが広がり、いち生活者として
いきいきと暮らせます。その行程

を、みなさんと一緒に歩いていき
たいと思います。みんなの力を
信じ、みんなが持つておられる
素晴らしい宝物を探して磨いて、
生活者として自信をもつていただき
くことの一役を担えたらと思いま
す。

みなさんの過ごされる場所が『明
るい笑顔があふれるところ』にな
りますよう、まずはたくさんお話
しができたら嬉しいです。

日中活動支援部会 全国大会に参加して

つじ苑施設長 中川 伸治

研修報告

十二月に日中活動支援部会全国
大会が行われ参加してきました。
大会が行われ参加してきました。
大会が行われ参加してきました。

日中の活動支援部会全国大
会が行われたことを知
ることができた。当事者本人のことを考
えました。当事者本人のことを知
ることが第一歩となり本人の思い
につながっていきましたその方と
日々向き合い信頼関係を構築して
いくことが大前提となります。

意思決定支援は、本人について
何も知らないれば、意思決定につ
ながりません。どんなに重い障害
があつても言葉が話せなくとも本
人が困り果てて、行動障害を
困らせようとしているのではな
く、本人が困り果てて、行動障害
を理解した上で、行動障害
を有する方に対して、強度行動障
害支援者研修（実践研修）を受講
した私たち支援者は、行動障害が
低減できるよう、障害特性の把握
や適切な支援方法の選択、計画書
（手順書）の作成といった様々な役
割を担います。

富山県強度行動障害支援者 研修（実践研修）を受けて

四ツ葉園支援員 長瀬 博義

本人から相談を受けたことは、必
ず受けとめることと否定しないこ
と、その関係を継続していくこと
で本人の考え方を深め共有し
たいと思います。

関係を築くためのひとつとして
本人から相談を受けたことは、必
ず受けとめることと否定しないこ
と、その関係を継続していくこと
で本人自身も「そういう風に考え
ていいいんだ」という思いがでてく
るそうです。本人に寄り添い真摯
に向き合い続けることが大切だと
感じました。

しかし、行動障害に対する支援
は計画を立てる支援者一人では決
してできません。そのため、強

度行動障害支援者研修（基礎研修）
を修了した行動障害に対する適切
な知識をもつ支援者とチームと
なつて計画に沿った支援を行なう
ことが行動障害の低減を目指すう
えで重要となります。

最後に、実践研修で学んだ知識
や技法を今後の職場に活かし、行
動障害に苦しむ利用者さんの支え
になれるような支援員を目指して
いきたいと思います。



三月に富山県強度行動障害支援
者研修（実践研修）を受講してき
ました。